



# コロとガラダ



しかも毎日  
お姉ちゃんが



家事の一切は  
私の仕事――



海外出張が多い  
両親に代わって

ドー



イク...っ  
中に出してえ



ほら出すぞ  
受け止めろ!

な...腔内...っ



夕...夕メ...  
私も...もう...っ



こんなはしたな...っ

んが...っ

セフレを  
連れて来る

あースッキリ  
したあ〜

いや〜ごめんね  
いつもご馳走に  
なっちゃって…

だって鈴音…  
売ることタイプ  
だもんねえ

そ…そんな訳  
ないでしょ!!  
ずっと居るから  
仕方なく…っ

普通姉のオトコの  
世話までしない  
けどね〜  
ごんだけお節介  
好きなんだか

う…うるさいなあ

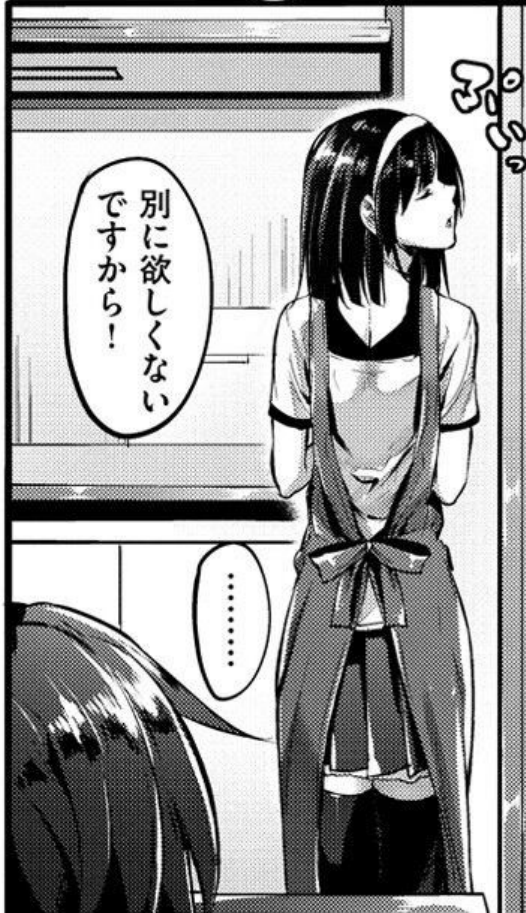
とにかく私はあなた達  
みたいな淫乱な人は  
大嫌いですから!

またまた〜  
ホントはえっちに  
興味津々のくせに〜

折角いいカラダ  
してるのに  
もったいないよ?  
梅ごえつちやろ?

いやらしい目で  
見ないでください!







おまけに  
口うるさいし…

…っ

でも鈴音ちゃんの  
性格だと…  
男友達もいなさそう  
だよな



ごめん  
ごめん…

それ以上喋ると  
ホントに追い出し  
ますよ？

あれ…図星？

…なっ



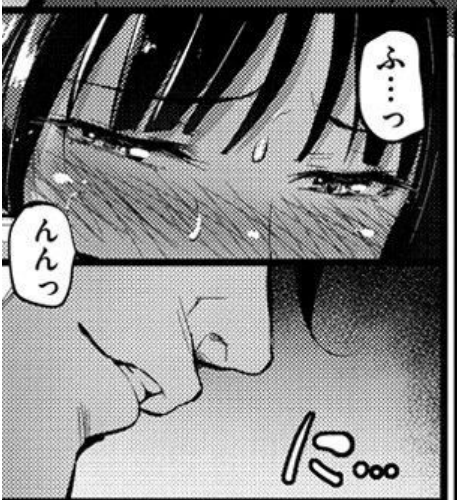
どうせ身体  
触りたいだけの  
くせに…っ

じよ…冗談じゃ  
ないです！

は!!

じゃあお詫びに  
マッサージでも  
結構上手い  
んだよ？  
してあげようか？





ちょ…  
触らないってー

いつも  
俺達のセックス…  
盗み聞きしてる  
でしょ？

そ…そんな  
はしたないこと  
してません…っ

でもこの  
濡れ方…

今のマッサージ  
だけのせいじゃ  
ないよね？

鈴音ちゃんさー

あ…っ  
やめてくださー

壁越しに声が聞こえたら  
皆 おかずにするって…  
鈴音ちゃんだけが  
悪いわけじゃないよ？

うる

お

うる

すあ

あ…っ  
ん…ん…っ

ん…ん…っ

うる

うる



うわ...

ごめん  
ごめん...



自分でする時は...



鈴音ちゃん...  
今すごく感じてた  
よね?

はあっ

はあっ



な?

こんな風に  
いじってたのか—



んあ—っ

や...やめ...っ



離して!

そ...  
それは...っ

もう少し  
素直になろうよ

鈴音ちゃんは  
何も悪くないよ？



わ…私は…悪くない…の？

ぴ

ぴ

ムニ

ムニ

今からすることは  
全部俺のせいにして  
いいからさ…



なら…

とろ

ぎぎ

ほら…  
鈴音ちゃんが  
魅力的で

俺のこんな  
なっちゃったし

あ…あんなに…

もう少しだけ…



は...  
はい...っ

ちんぽもつと深く<sup>く</sup>啜<sup>く</sup>えて...  
空いた手で自分の擦<sup>す</sup>ってね?



ん...っ

すご...大き



お...自分から  
舐めてくれるの?

私の身体で  
こんなに...



ぽー

いいよー  
鈴音ちゃん



ぽー



なんか...頭の中が  
痺れて...っ

くさぽん



私...そんな  
いやらしくない...っ

初めてでこんな  
上手いなんて...  
いつも練習してた  
のかな?



あーもう  
出そう…っ

も…もう出るの!?  
私…まだ…っ

出る!

ほら…ちゃんと  
全部飲んで…

イッ前に  
終わっちゃった…



じゃ…これで  
終わりにするね？  
最後までするのは  
さすがに悪い…

え…っ

んんん

あ…あのっ

んんん

んんん



んあ…



そ…そんなこと  
出来ませ…ん

自分で股開いて  
何をどこに入れて  
欲しいのか…



もつと  
シたいの？

…あれ？



きやつ

じゃあちやんと  
言わないと…

鈴音ちゃんはどうしたいのかなあ〜

んあっ

止めちやおうかな〜

お…無理

あ

あ

入れたい…  
わ…私の

私…の…  
おま〇こ…

百澤さんのお…おちんちん…  
挿入れてくださいっ

あ

鈴音ちゃんの処女穴ゲット〜

了…解

あ…あ

痛—っ

んあ

びく

びく



今までセフレは汚らわしいとか言ってたくせに…

自分からおねだりするなんて…

そ…そんな



やっぱり鈴音ちゃん淫乱だったんだね♪

これはあなたが悪いって—っ



でも処女とは思えないほど

いやらしく絡み付いて来るよ？

やだ…入ってる…



ほら…っ

ずっとこうやってちんぼズボズボして欲しかったんでしょ？

ち…違います…っ

これは…あなたがあ…っ



指じや届かない  
とこまで

届かぬ...



違いますうっ

はあ

強情だなく  
さつき自分で  
おねだりしてた  
じゃん……



私…淫乱なんかじゃないのに…

この人が悪いのに…

はあ



そ…それだけは  
絶対…

はあ

ほら…認め  
ちやいなよ  
自分は  
淫乱ですって



そ…そんな

これからも  
壁越しに  
聞いてなよ!



もう二度と  
鈴音ちゃんとは  
シない……

じゃあここで  
止めようね?



じゃあ言わ  
なきや...

あーあ

そんなのいやーっ

淫乱だって...  
ズポズポされ  
たいって...

また...  
壁越してなんで...

あーあ  
おちんちん欲しいっ

わ...私  
淫乱です...

もっと犯して  
ください...

もっとおま○こ  
ズポズポして  
くださいい~~~~っ

あっあっあっ

鈴音ちゃんの  
淫乱おま○こに  
出してあげるね♪

私の子宮に…

な…  
腔内…っ

くだ…さい…っ  
お姉ちゃんと同じ  
腔内射精…っ

種付けして  
くだひゃい…っ



はら  
孕め!!



